

## 各部の重点的施策

### 危機管理室

- ▶**防災対策** 各部局における「災害応急対策活動マニュアル」の改訂や、災害対策本部を設置する別館・第2別館に、非常用自家発電設備を導入します。
- ▶**情報管理** 「情報セキュリティー監査」や「サイバー攻撃訓練」などを通じた、職員の情報セキュリティー能力の向上を図ります。また、個別の業務システムの導入・構築段階から、仕様の精査や調達方法の検討を行い、効果的なデータ連携を図るなど、システム全体の最適化を進めます。

### 企画財政部

- ▶**公共施設の老朽化対策** 「公共施設等総合管理計画」「公共施設等再配置計画」に基づき、個々の公共施設の在り方について検討を進めます。
- ▶**シティプロモーション事業** 3月にリニューアルした市ホームページなどを活用し、定住人口の増加を目ざした、市の魅力アップに取り組みます。

### 健やか部

- ▶**子ども・子育て支援** 「子ども・子育て支援事業計画」を見直し、「子どもの生活実態調査」の結果を踏まえ、子どもの貧困対策に係る具体的な取り組みを位置づけ、子ども・子育て施策全体として、その充実に向けて取り組みます。
- ▶**幼児期の教育・保育** 公立認定こども園1園の民営化に向け、移管事業者の選定や、移転先となる森新池の埋め立て造成工事を実施するとともに、保護者に対して丁寧な説明に努めます。
- ▶**安全安心な保育環境の整備** 市内の認定こども園などに対し、ベビーセンスなどのICT機器導入

### 福祉部

- ▶**地域福祉施策** 見守りや支え合いといった、地域におけるセーフティネットの構築に努めます。
- ▶**障がい福祉施策** 第5期障がい福祉計画、第1期障がい児福祉計画に基づき、障がいのある人たちの生活支援や暮らしの充実に努めます。

### 環境部

- ▶**新ごみ処理施設の適正管理** 2月から本格稼働を始めた同施設を、四條畷市および施設組合と協力し、施設の適正管理に努めます。
- ▶**安定的な収集体制構築の検討** 職員の退職などによる人員の減少により、収集体制の維持が困難



### 総務部

- ▶**目標管理型評価制度の運用** 29年度に一部の管理職を対象に実施した、同制度の勤勉手当への反映を、課長代理級までの全管理職を対象を拡大し、運用に努めます。
- ▶**産業・観光振興** 地域再生計画に基づき、「かたのツーリズム」の実施や、産官学連携による「枚方・交野天の川ツーリズム」を引き続き実施し、地域経済および観光の振興を進めます。



### 市民部

- ▶**国民健康保険制度の運営** 国民健康保険の広域化について、制度の説明と周知に努め、保険料などの激変緩和措置を含め、適切な運営に取り組みます。
- ▶**保健事業** 「第3期特定健康診査等実施計画と第2期データヘルス計画」に基づき、健康寿命の延伸および健康保持の増進を図ることで、医療費の抑制に努めます。

- への補助や、保育士の保育補助者の雇上げに対する補助を実施します。
- ▶**妊婦健診の公費負担増額** 安心して産み育てることのできる環境整備の一環として、妊娠から出産、産後の支援充実を図ります。
- ▶**母子保健施策の推進** 産婦健診および新生児対象の聴覚検査への助成を検討し、30年度の早期実施に向け、関係機関との連携・調整を行います。
- ▶**「第2期健康増進・食育推進計画」の策定** 生活習慣病をはじめとする、健康課題の解決に向けた事業推進を図ります。

- ▶**高齢者福祉施策** 「高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画」に基づき、認知症・介護予防など高齢者施策の充実を図るため、関係機関と連携しつつ、高齢者の自立支援や地域包括ケアへの充実に取り組みます。

- と予測される一般廃棄物の処理について、市内の環境衛生を適正に保全するため、民間活力の導入などを検討します。
- ▶**乙辺浄化センターの更新** 下水道への希釈放流に向けて、府の関係機関などと協議を進めるとともに、施設の更新に向けて、施設整備基本計画などの策定を進めます。

## 30年度施政方針の要旨



### 施政方針の思い

2月26日(月)、30年第2回議会定例会が開会され、冒頭、黒田市長が新年度に臨む施政方針を表明しました。

今後、がたの〴〵を持続可能な形で後世に引き継げるよう、交野の魅力を高めていくための施政方針要旨をお伝えします。

問い合わせ 政策企画課(TEL 892・0121)

市の65歳以上の割合を示す高齢化率は約27%で、社会保障の仕組みでは、高齢者1人を現役世代2人で支える時代となりました。その一方、総務省の29年住民基本台帳人口移動報告で、市の1年間の人口移動累計は、105人の転入超過であると発表されました。転入者の年齢別では、30代から40代の若い親世代が、5歳までの子どもと一緒に、転入する傾向が見て取れます。本市が活力あるまちとして持続するためには、若い世代を呼び込み、人口減少の流れを緩やかにすることが重要で



あり、市長戦略においても「住みたい、住み続けたいまちづくり」というテーマを掲げ、重点的に取り組みを進めているところであります。

今後、すべての世代が、「住みたい、住み続けたいまち」として選んでいただけるよう、「支え合う健康のまちづくり」「未来へつなぐ環境づくり」「みんなで安全安心なまちづくり」を含め、市長戦略における4つの政策の柱をしっかりと踏まえ、着実な市政運営を進めてまいります。

全庁的に取り組むべき課題として、「星田駅北エリアのまちづくり」は、組合施行の土地区画整理事業を実施するにあたり、「都市計画の決定・変更」について、府および市において告示する運びとなりました。

また、「公共施設の老朽化対策」は、市民や有識者を交えて策定した「公共施設等再配置計画」を基に、より具体的な議論へと進めてまいります。

### 予算編成

市立小・中学校についても、保護者や学校関係者の意見を伺いながら、新たな教育環境の整備に向けた取り組みを進めてまいります。

今まさに、取り組むべき課題である「防災対策」については、防災・減災・縮災の3つの観点から、できる限りの備えを全庁的に進めてまいります。

これらの取り組みを着実に進めていくためにも、財源の裏付けは重要であるため、今後の財政運営の方向性を「財政運営基本方針」として、示しました。同方針は、40年度までの財政見通しを試算しているもので、累計で50億円を超える財源が不足する予測となりました。本市の財政状況を直視し、市民生活への影響を精査しつつ、多角的な手段で財源の確保を図ってまいります。

30年度の予算については、歳入の根幹をなす市税収入や、地方交付税は一定確保できているものの、社会保障関連費用の増加など、構造的な

### 平成30年度当初予算

一般会計	234億8,702万5千円
国民健康保険特別会計	86億2,037万3千円
下水道事業特別会計	16億5,352万3千円
介護保険特別会計	59億7,572万4千円
公共用地先行取得事業特別会計	5億6,251万2千円
後期高齢者医療特別会計	14億8,810万5千円
水道事業会計	27億8,317万9千円
総額	445億7,044万1千円

因から厳しい予算編成となりました。

しかしながら、「財政運営基本方針」を指針とし、財政目標や中長期的な見通しを踏まえ、将来への備えをしっかりと、子育て支援・防災対策分野などに対するメリハリのある投資など、本市の魅力高め、課題を解消するための配分となるよう編成いたしました。

## 都市計画部

- ▶**星田駅北エリアのまちづくり** 組合設立認可などに係る市の手続きを行うとともに、組合に対する技術的支援および事業実施に対する財政的支援に努めます。
- ▶**移住・定住の促進** 他市在住の子育て世帯に、交野市在住の親世帯と同居、近居していただくよう「移住・定住の促進事業」として、同居・近居促進補助事業を実施します。

## 教育総務室・学校規模適正化室

- ▶**教育委員会の総括** 組織の総合調整を図るとともに、さらなる教育委員会活動の充実、教育委員会会議の活性化を図ります。
- ▶**学校規模の適正化** 「学校規模適正化基本計画」、「学校施設等管理計画」を取りまとめ、新たな教育環境の整備に向けた取り組みを進めます。

## 生涯学習推進部

- ▶**交野マラソンへの支援** 実行委員会主催で開催される交野マラソンについて、地域におけるスポーツ振興の観点から、活動の支援を行います。
- ▶**文化財の保護** 星田北・星田駅北地区における



## 都市整備部

- ▶**調整池の整備** 京阪交野線と府道交野久御山線の交差点部における冠水対策として、調整池の整備に着手し、浸水被害の軽減を図ります。
- ▶**下水道事業** 下水道未整備地区の解消を図るとともに、星田駅北エリアのまちづくりを見据えた、幹線管渠の整備を進めます。
- ▶**農業施策** 災害に強い農業基盤をつくるため、松宝寺池において、ため池改修工事を行います。

## 学校教育部

- ▶**教育環境の向上** 学校図書館や音楽室などの特別教室に、エアコンの設置を進めます。
- ▶**学校給食費の公会計化** さらなる透明化を旨とし、公会計化を進めます。
- ▶**小中一貫教育の充実** ロボット型プログラミング教材の活用や、英語の外部検定導入などにより、特色のある学校教育を進めます。

- 土地区画整理事業に先立つ、埋蔵文化財の調査を実施します。
- ▶**子どもの読書活動推進** 「子ども読書活動推進計画」に基づき、地域において読み聞かせができる人材を育成する講座や、市内小学校を対象に団体貸出本の配送を行います。

## 消防本部

- ▶**救急体制の強化** 高規格救急自動車の更新や、2人の救急救命士の養成を行うなど、さらなる救命率向上を旨とします。
- ▶**地域の高齢化・広域災害への対応** 防火診断による高齢者世帯の見守りや、消防団員の増員を図り、地域に密着した防災活動を推進します。
- ▶**消防力の強化** 隣接地域での相互応援体制の構築などを図ります。



## 水道局

- ▶**第6次拡張事業** 私市浄水場跡地の「浄水池」が完成し、「送水ポンプ棟」は、自己水8、企業団水2の割合での「よりおいしい水」の給水に向けて施工中です。
- ▶**交野市新水道ビジョン** 50年先を見据えた水道事業の理想像を具現化し、送配水管の更新・耐震化など、当面の間に取り組むべき事項や方策を具体的に示す、同ビジョンの策定に向け取り組みます。

### 市長戦略の集大成

本年は、「市長戦略」や「交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を軸とした、これまでの取り組みが問われる年であります。

その進捗・成果につきましては、しっかりと取りまとめ、検証し、みなさんに示したいと考えていますが、過去の財政運営による制約の中、一定の成果や解決の道筋が見えたものは、決して行政の取り組みだけによるものではありません。

市民のみなさんのご理解と、地域やさまざまな団体、官民連携の中で、その成果が現れてきたものであります。

まちづくりの方向性や時代の変化により、これからも生じる新たな課題について、市民のみなさんと共有し、子どもからお年寄りまでそれぞれの世代が、「住みたい」「住み続けてよかった」と実感できるまちを旨として、全力で取り組んでまいります。

交野市長 星田 実